



平成28年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ジェイグループホールディングス

コード番号 3063 URL <http://www.jgroup.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 新田 二郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 赤工 朝飛

TEL 052-243-0026

四半期報告書提出予定日 平成27年7月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第1四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第1四半期	3,524	5.2	△66	—	△32	—	△99	—
27年2月期第1四半期	3,350	21.4	56	—	52	—	25	—

(注) 包括利益 28年2月期第1四半期 △100百万円 (—%) 27年2月期第1四半期 28百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第1四半期	△12.50	—
27年2月期第1四半期	3.20	3.20

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年2月期第1四半期	8,700	1,914	22.0	238.93
27年2月期	8,659	2,026	23.4	253.02

(参考) 自己資本 28年2月期第1四半期 1,910百万円 27年2月期 2,023百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	1.00	—	1.50	2.50
28年2月期	—	—	—	—	—
28年2月期(予想)	—	1.50	—	1.50	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,100	5.9	70	10.9	65	22.7	18	158.3	2.25
通期	14,100	3.2	150	121.9	139	39.5	49	69.7	6.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注) 詳細は、添付資料3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年2月期1Q	8,196,400 株	27年2月期	8,196,400 株
28年2月期1Q	200,035 株	27年2月期	200,035 株
28年2月期1Q	7,996,365 株	27年2月期1Q	7,996,400 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等が様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、株価回復が持続し、企業収益の改善や賃金上昇の兆しが見られるようになってまいりました。一方で、消費税増税の影響により消費マインドの改善については、引き続き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、原材料価格の高騰に加え、人材不足やそれに伴うアルバイト時給の上昇など、人件費の増加傾向が続いており、引き続き厳しい経営環境となっております。

このような環境のもと、当社グループでは、人員の融通や店舗政策などを効率的に実施できるよう、従来は子会社毎に管理していた組織について指示系統を一本化し、営業組織の見直しを行いました。また、6店舗を新規出店し、2店舗を取得するとともに、3店舗を閉店いたしました。これらにより、平成27年5月末日現在の業態数及び店舗数は、59業態135店舗（国内134店舗、海外1店舗）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,524百万円（前年同期比5.2%増）となりましたが、原材料価格の高騰及び人件費の増加を主因に、営業損失は66百万円（前年同期は営業利益56百万円）、経常損失は32百万円（前年同期は経常利益52百万円）、四半期純損失は99百万円（前年同期は四半期純利益25百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 飲食事業

原材料価格の高騰傾向が顕著となっておりますので、メニュー内容の見直しに取り組みました。

主な新規出店といたしましては、平成27年3月に「SARU CAFE（サルカフェ）ラシック店」（名古屋市中区）、「芋蔵（イモゾウ）霞が関店」（東京都千代田区）、4月に「MANOA VALLEY CAFE（マノアバレーカフェ）」及び「ためつ食堂（タメツショクドウ）」（名古屋市中村区）、「たんと」（名古屋市中区）をオープンいたしました。

また、「九州うまかもん屋（キュウシュウウマカモンヤ）」（岐阜県各務原市）、「Mulberry St.（マルベリーストリート）」（大阪市北区）、「猿Cafe（サルカフェ）星ヶ丘店」（名古屋市千種区）を閉店いたしました。

その結果、飲食事業における売上高は3,159百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益は83百万円（同51.2%減）となりました。

② ブライダル事業

「LUCENT Mariage Tower（ルーセントマリアージュタワー）」について、強みである高層階からの景観が名古屋駅周辺の開発工事により悪化し、成約率が低下いたしました。その結果、ブライダル事業における売上高は228百万円（前年同期比13.7%減）、営業利益は12百万円（同56.7%減）となりました。

③ 不動産事業

テナントビル「ダイヤモンドウェイ」や「G-SEVENS（ジーセブン）刈谷」などの賃貸収入に加え、前連結会計年度に開設したテナントビル「ジェイチル名駅」が収益に寄与いたしました。その結果、不動産事業における売上高は451百万円（前年同期比10.3%増）、営業利益は40百万円（同13.4%増）となりました。

④ その他の事業

広告代理業及び卸売業等のその他の事業における売上高は231百万円（前年同期比17.1%増）、営業利益は9百万円（同10.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は8,700百万円(前連結会計年度末比40百万円増加)となり、負債は6,786百万円(同153百万円増加)、純資産は1,914百万円(同112百万円減少)となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ総額で32百万円増加し1,583百万円となりました。これは、売掛金が49百万円増加したことなどが主な要因であります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ8百万円増加し7,112百万円となりました。これは、新規出店等により有形固定資産が38百万円増加したことなどが主な要因であります。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ207百万円増加し3,090百万円となりました。これは、買掛金が53百万円、短期借入金が166百万円、それぞれ増加したことなどが主な要因であります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ54百万円減少し3,696百万円となりました。これは、社債が13百万円、長期借入金が18百万円、それぞれ減少したことなどが主な要因であります。

純資産につきましては、利益剰余金が111百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ112百万円減少し1,914百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年4月10日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきまして、現時点での修正はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	749,852	700,266
売掛金	381,352	430,874
商品及び製品	411	368
原材料及び貯蔵品	95,092	94,876
その他	334,820	372,335
貸倒引当金	△10,864	△15,230
流動資産合計	1,550,665	1,583,491
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,284,808	3,261,636
土地	1,632,852	1,632,852
その他(純額)	535,442	596,954
有形固定資産合計	5,453,103	5,491,443
無形固定資産	50,878	47,741
投資その他の資産		
投資有価証券	8,230	8,230
差入保証金	1,337,668	1,336,526
その他	260,838	231,203
貸倒引当金	△7,075	△2,675
投資その他の資産合計	1,599,661	1,573,285
固定資産合計	7,103,644	7,112,470
繰延資産		
株式交付費	2,853	2,283
社債発行費	2,787	2,593
繰延資産合計	5,641	4,876
資産合計	8,659,951	8,700,839

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	581,055	634,348
短期借入金	—	166,800
1年内返済予定の長期借入金	963,227	952,835
1年内償還予定の社債	46,000	46,000
未払金	790,486	894,717
未払法人税等	47,140	18,052
賞与引当金	—	8,080
その他	454,789	369,835
流動負債合計	2,882,699	3,090,669
固定負債		
社債	138,000	125,000
長期借入金	3,187,034	3,168,675
資産除去債務	67,241	68,573
その他	358,332	333,879
固定負債合計	3,750,608	3,696,127
負債合計	6,633,307	6,786,796
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,068,969	1,068,969
資本剰余金	998,969	998,969
利益剰余金	77,660	△34,304
自己株式	△76,021	△76,021
株主資本合計	2,069,577	1,957,612
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△46,371	△47,007
その他の包括利益累計額合計	△46,371	△47,007
新株予約権	3,438	3,438
純資産合計	2,026,643	1,914,042
負債純資産合計	8,659,951	8,700,839

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
売上高	3,350,220	3,524,640
売上原価	1,016,061	1,103,397
売上総利益	2,334,158	2,421,243
販売費及び一般管理費	2,277,783	2,487,699
営業利益又は営業損失(△)	56,375	△66,456
営業外収益		
受取利息	190	155
協賛金収入	15,330	52,129
設備賃貸料	1,110	2,847
その他	4,221	11,081
営業外収益合計	20,853	66,214
営業外費用		
支払利息	15,178	16,560
為替差損	3,247	2,673
その他	6,353	13,266
営業外費用合計	24,779	32,501
経常利益又は経常損失(△)	52,449	△32,743
特別損失		
店舗閉鎖損失	388	23,736
特別損失合計	388	23,736
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	52,060	△56,479
法人税等	26,472	43,490
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	25,588	△99,970
四半期純利益又は四半期純損失(△)	25,588	△99,970

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	25,588	△99,970
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,575	△636
その他の包括利益合計	2,575	△636
四半期包括利益	28,163	△100,606
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,163	△100,606

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	飲食	ブライダル	不動産	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	2,966,580	265,096	44,105	3,275,782	74,437	3,350,220	—	3,350,220
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	26,165	—	365,016	391,182	123,129	514,311	△514,311	—
計	2,992,746	265,096	409,122	3,666,965	197,567	3,864,532	△514,311	3,350,220
セグメント利益	171,696	29,156	35,594	236,447	8,182	244,629	△188,254	56,375

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業、有料職業紹介業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 △188,254千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「飲食事業」セグメントにおいて、サンクスマインド株式会社の全株式を取得し子会社化いたしました。取得原価の配分が完了していないため暫定的な金額ではありますが、当該事象により発生したのれんの金額は、当第1四半期連結累計期間においては、36,737千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	飲食	ブライダル	不動産	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	3,137,089	228,696	60,572	3,426,357	98,282	3,524,640	—	3,524,640
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	22,708	—	390,686	413,394	133,138	546,533	△546,533	—
計	3,159,797	228,696	451,259	3,839,752	231,421	4,071,174	△546,533	3,524,640
セグメント利益又は損失(△)	83,850	12,613	40,380	136,844	9,055	145,900	△212,356	△66,456

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業、有料職業紹介業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額 △212,356千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。